

落合陽一

(映像演出・監修)

齋藤友香理

(第一部の指揮)

第一部 琉球古典音楽「こてい節」琉球舞踊「木貫花」より

「金武節」「白瀬走川節」／沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻

(歌三線) ウェーバー・クラリネット五重奏曲より 第一、三、四楽章／

日本フィルハーモニー交響楽団

畑野の鬼太鼓／畑野熊野神社祭典青年鬼組「鬼太鼓」佐渡市

第二部 「承前啓後継往開来シリーズ」

藤倉大: Open Leaves / 歌三線: オークストラ

藤倉大: Demon Dance / 鬼太鼓: オークストラ

オークストラ: メンバー: 琉球交響楽団、沖縄県立芸術

大学音楽表現専攻、日本フィルハーモニー交響楽団

令和6年度 日本博2.0事業(補助型)(独立行政法人日本芸術文化振興会/文化庁)

那覇文化芸術劇場なはーと

沖縄県那覇市久茂地3-1-26 27モノレル「県庁前」「美栄橋」下車徒歩6分
一般駐車場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

落合陽一

日本フィルハーモニー交響楽団

変幻する音楽会

琉球古典音楽、佐渡の鬼太鼓芸能、クラシック、テクノロジーの融合

落合陽一による 生成AI映像演出つき

2025
2/23 (日)

開演 14:00
開場 13:30

サテライト公演 IN NAHA

主催 企画制作/公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 特別協賛/株式会社シテック
協賛/株式会社カルテ(ペイト)、一般財団法人沖縄美ら島財団 佐渡汽船株式会社
共催/佐渡市 協力/沖縄県立芸術大学、琉球交響楽団、シセカイ株式会社 ほか



JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

変幻する音楽会 サテライト公演 in NAHA

日本フィルハーモニー交響楽団

Yoichi Ochiai
Japan Philharmonic Orchestra
Orchestra of alternation in NAHA



© MIKA NINAGAWA



© KOJI IIDA

落合陽一

メディアアーティスト。1987年生まれ、2010年ごろより作家活動を始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。筑波大学准教授、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)テーマ事業プロデューサー。写真集「質量への憧憬(amana・2019)」NFT作品「Re-Digitalization of Waves(foundation・2021)」など。2016年PrixArsElectronica栄 誉賞、EUよりSTARTSP Prize受賞、2019SXSW Creative Experience Awards受賞。Apollo Magazine 40 UNDER 40 ART andTECH、Asia Digital Art Award優秀賞、文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品多数。主な個展として「Image and Matter」マレーシア、2016、「未知への追憶」渋谷マルイMODI、2020、「物化-Transformation of Material Things-」香港アーツセンター、2021、「日下部民藝館特別展」岐阜、2021-2024、「晴れときどきライカ」ライカギャラリー東京/京都、2023、「刈の共鳴:計算機自然における空性の相互接続」山梨・清春芸術村 安藤忠雄/光の美術館、2023、「昼夜の相代も神仏:鯨丸:鰻ドロン」東京・Brillia Art Gallery、2024など。常設展として「計算機と自然、計算機の自然」日本科学未来館、2019。その他の展示としてSIGGRAPH Art Gallery、「Ars Electronica Festival」2015-2021、「AI More Than Human」JUA・バービカンセンター、2019、「おさなごころを、きみに」東京都現代美術館、2020、「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」北九州市立いのちのたび博物館、2021、「Study:大阪関西国際芸術祭」2022-2023など多数出展。「New Japan Islands 2019-2022」エグゼクティブディレクターや「落合陽一×日本フィルプロジェクト2017-2025」などの演出を務め、さまざまな分野とのコラボレーションも手掛ける。

齋藤友香理(第2部の指揮)

桐朋学園大学卒業。指揮を黒岩英臣、高関健、梅田俊明の各氏に師事。小澤征爾から指揮研修生に選ばれてSKF松本での《ヘンゼルとグレーテル》でデビュー。2013年からドレスデンでG.C.ザンドマン教授に師事。2015年、プザンソン国際指揮者コンクールで聴衆賞とオーケストラ賞を同時受賞。その後はリール国立管を指揮し欧州デビューし、ウィーンのトーンクンストラ管も指揮。バイエルン州立歌劇場のワーグナー《パルジファル》で、K.ベトレンコのアシスタントを務めた。国内では読売日響、東京響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、札幌、群馬響、大阪フィル、京都市響、日本センチュリー響、大阪響、兵庫県立芸術文化センター管、九州響等を指揮。

知野熊野神社祭典青年鬼組「鬼太鼓」

佐渡市の中心、国中平野に位置し、霊亀2(716)年の創建と伝わる畑野地区の鎮守社熊野神社の祭礼は毎年10月15日に開催されます。鬼太鼓はこの祭礼の日、広い集落の1軒1軒を門付けて回ります。地区内には約600軒の民家があるため、日付が変わる午前0時から深夜まで、文字通り1日かけて門付けを行います。この1日の祭礼のために準備をする「鬼組」のメンバーは全員、地域に暮らす青年。OBとなる地域の先輩とともに鬼組を毎年継続しています。本公演には約15名が、鬼、太鼓、獅子などの役に参加予定です。

沖縄県立芸術大学

琉球芸能専攻「歌三線」2023年8月の《Open Leaves》委嘱初演にあたり琉球古典音楽のアドヴァイザーを務め、同曲の初演に貢献した新垣俊道(沖縄県立大学准教授、琉球芸能専攻)を中心に、同大学の学生が出演。沖縄県立芸術大学は世界で唯一の「琉球芸能専攻」琉球古典音楽コースを持ち、研究と人材育成に取り組んでいる。〈音楽表現専攻 管打楽器コース〉声楽・ピアノ・弦楽・管打楽・作曲理論の5コースからなり、実践を重視し各分野を超えた教育研究を行っています。経験を通じ、多様な音楽観やコミュニケーション能力を身につけ、社会とのつながりを深められる人材を育成しています。

琉球交響楽団

2001年3月「琉球交響楽団設立コンサート」を開催。定期演奏会や小中高等学校での音楽鑑賞会の他、0歳児からのコンサート、琉球芸能とのコラボレーション、沖縄県内離島公演を積極的に行っている。2016年大友直人が音楽監督に就任。2017年、全国共同制プッチーニ:歌劇「トスカ」沖縄公演において管弦楽演奏を務め好評を博した。2022年6月には沖縄復帰50周年記念特別公演として東京公演、大阪公演を開催。聴衆、聴衆とのふれあいを大切に、県民に親しみ愛され、国際色豊かな沖縄県の顔となる交響楽団を目指し活動している。2005年ファーストアルバム「琉球交響楽団」、2020年セカンドアルバム「沖縄交響歳時記」をリリース。第19回宮良長包音楽賞受賞。

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月創立。創立指揮者渡辺暁雄。2023年9月よりカーチン・ウォンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りは非常に注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一をという指揮者陣を中心に年間150回を超えるオーケストラ公演を行っている。2026年の70周年に向け、芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。特に、日本フィルが2011年以来東日本大震災の被災地における活動「被災地に音楽を」を継続し、さらにそれが「若い世代への未来への希望を育んでいる」ことに対し、第16回後藤新平賞が授与された。落合陽一×日本フィルプロジェクト《耳で聴かない音楽会》により、カンヌライオンズ2019ミュージック部門(「エンターテイメントライオンズ・フォー・ミュージック」)ブロンズ賞受賞・SDG部門(「サステナブル・デベロップメント・ゴール」)ショートリスト入選、他受賞。毎週水曜日22時54分~23時、BS朝日「Welcomeクラシック」出演中。オフィシャルウェブサイト <https://www.japanphil.or.jp> 公式X @Japanphil プロジェクトX @ochiyaijapanphil

クラウドファンディングによるご支援募集

READYFOR
https://readyfor.jp/projects/vol8_naha

SS席限定販売、特典付きチケット、限定グッズ、同行ツアーなどのリターンがございます。

チケット [全席自由・消費税込] 料金 (SS席:ご支援チケット、READYFOR 日本フィル限定販売) **¥5,000** (S席) 一般 **¥3,000** 学生 **¥2,000**

日時 **2025年2月23日(日)** 開演 14:00 (開場 13:30) 会場 **那覇文化芸術劇場なは一と** ※未就学児は入場できません。

■ お申込み・お問合せ
日本フィル・サービスセンター TEL 03-5378-5911 (平日10時~17時) japanphil.or.jp

■ プレイガイド
e+【イープラス】(ファミリーマート・セブンイレブン発券) <https://eplus.jp/teket> <https://teket.jp/8483/44280>

■ ホテル付チケット
沖縄ツーリスト(事前決済のみ)
■ 那覇市内プレイガイド
デパートリウボウ、コープあぶれ

公演情報

